

# 出雲市・出雲駐屯地調印式



い  
ず  
も



発行所 出雲駐屯地  
広報室

出雲市と陸上自衛隊出雲駐屯地は、大規模な災害で被災地に派遣される自衛官の家族を自治体が支援する協定について平成30年8月27日（月）締結した。

この協定は、東日本大震災のときに被災地に派遣された自衛隊員が、残された家族と連絡をとることができず、不安を抱える人が多かったことから、全国で自治体と自衛隊との間で締結が進められている。

協定締結式には、出雲市長（長岡秀人）と出雲駐屯地司令（中谷一雄）が出席し、協定書に署名した。

長岡市長は、締結式の中で「災害の厳しい環境の中で残された家族への心配は大きいと思う。災害対応に全力が出せるよう、市として支援したい。」とあいさつした。

協定では、出雲市が被災した場合、被災地に派遣された自衛隊員に家族の安否を伝えるほか、隊員が子供を保育施設に預けるため仲介を行う。

平成30年7月豪雨では、広島県に出雲駐屯地からおおよそ100名の隊員が派遣され、行方不明者の捜索や道路啓開、給水活動を行った。

出雲駐屯地司令 中谷2佐は「災害が起きた時は、この協定を活用して後顧の憂い無くしっかりと任務に邁進したい。本協定は、出雲市として自衛隊員に対する支援が主体の内容となっているが、一方で自衛隊が出雲市民のために何ができるのか、駐屯地で実施できる支援は何かということを考え、今後更に出雲市と自衛隊が共存共栄していける協定内容に発展していけば良いと考えている。この協定締結が、まさにその一歩であり大変嬉しく思います。」と述べた。

# 第13偵察隊協同転地演習 出陣



▲ 出雲大社に向かい安全祈願



▲ 隊員家族から熱い激励



▲ 駐屯地を出発する偵察隊車両

第13偵察隊は、平成30年6月16日（土）協同転地演習出発に伴い、出陣式を行った。

式には隊員家族の他、隊友会副会長、OB会長、駐屯地を知る会会長、隊友会顧問が出席され、それぞれから隊員に激励の言葉を頂戴した。

出陣式終了後、隊は速やかに出発態勢を整え機動を開始した。

協同転地演習  
出陣式・出発

# 偵察隊隊検閲受閲

## 上富良野射撃検閲 矢臼別隊訓練検閲

### 偵察隊 主要装備 実射検閲

6月28日(木) 上富良野演習場において「偵察小隊が行う偵察のための前進間敵の妨害を克服(突破)する場面」を想定し軽装甲機動車による単車戦闘射撃、87式偵察警戒車による班戦闘射撃について受閲した。戦闘間、全斥候車の班内火力の集中・分火及び乗員が協同連携し現出した目標を確実に撃破又は制圧した。



▲ 軽装甲機動車「単車戦闘射撃」



▲ 87 偵察警戒車「班戦闘射撃」

### 平成30年度 隊訓練検閲

7月8日(日)から10日(火)までの2夜3日にわたり、生地(長距離機動)に引き続き矢臼別演習場において「攻撃を主体とした戦術行動」について受閲した。

第13偵察隊は、隊長中谷一雄2等陸佐を核心とし要望事項の「機甲科の偵察部隊として、生き残って任務を完遂する術を皆で徹底的に考え、そして実行せよ」を胸に、全隊員が一丸となり、日頃の訓練成果を遺憾なく発揮し、所命の任務を完遂した。

訓練を通して、全般統制要領、後方担当者の調整能力及び、各車長、操縦手の練度を向上することができた。



▲ 速やかに敵陣前を

偵察する偵察小隊



▲ 警戒地域において不審者対応する電子偵察小隊



# 平成30年7月豪雨災害 出雲駐屯地災害派遣

平成30年6月28日（木）から7月8日（日）にかけて、西日本を中心に北海道や中部地方など全国的に広い範囲で記録された台風7号及び梅雨前線等の影響による集中豪雨により大規模な災害が発生、出雲駐屯地所在部隊も災害派遣活動に従事した。



▲ 第304施設隊が災害派遣に出発する状況（7月13日（金））



▲ 第13偵察隊が災害派遣に出発する状況（7月16日（月））

## 出雲駐屯地 業務隊災害派遣支援

出雲駐屯地業務隊は平成30年7月豪雨災害拠点駐屯地機能維持のため7月17日（火）から8月1日（水）までの間、海田市駐屯地にボイラー増強要員1名（小林技官）を派遣した。

小林技官は、ボイラーの運転の他、ろ過機の故障対応、拠点駐屯地機能維持、派遣隊員の環境維持等を行い災害派遣活動に従事する隊員を後方から支援した。



▲海田市駐屯地でボイラーの故障に対応する小林技官

# 第13偵察隊災害派遣活動



▲生活道路等の危険物の撤去活動



▲災害地域の偵察活動を実施するAut要員



▲給水支援活動



▲給水支援活動



▲避難者輸送活動



▲避難者輸送に関する自治体との調整



▲送水管運搬活動



▲送水管運搬活動

第13偵察隊は、7月15日(日)約1ヶ月間の北方協同転地演習を終了し、出雲駐屯地へ帰隊した。同日速やかに災害派遣準備を完了し翌16日(月)第13偵察隊長(中谷一雄 2等陸佐)以下54名を持って広島地区へ前進した。広島県における河川、橋梁及び経路等被害状況を偵察、生活道路等の危険物除去、給水支援、台風12号接近に伴い孤立化する住民の避難輸送、送水管断裂箇所捜索・補修箇所への資材運搬等を実施した。

# 第304施設隊災害派遣活動

第304施設隊は7月13日午前5時以降、第6施設群を増援するため、第304施設隊長（石川 仁二等陸佐）以下20名が海田市駐屯に前進した。

第304施設隊は、広島県における不明者捜索支援、側溝浚渫、生活道路上の危険物除去を実施した。



道路啓開完了

▼ 油圧ショベル（グラップル付き）による行方不明者捜索状況



# 第304施設隊 平成30年度第4次隊野営

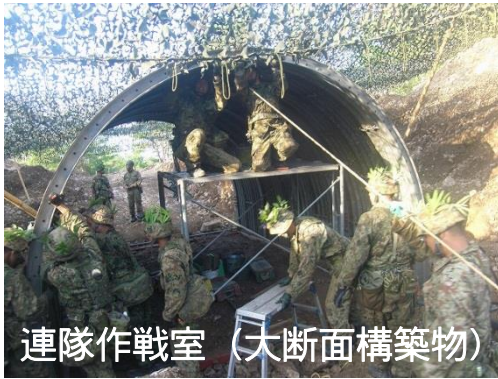
第304施設隊（隊長 石川2佐）は、平成30年7月豪雨災害派遣終了後間もない8月25日から4夜5日の状況で、日本原演習場において施設小隊（D）に対し訓練検閲を実施した。小隊は、課目「施設隊が直接支援する普通科連隊の陣地防衛において、全般支援任務にあたる施設小隊（D）の行動」について受閲し、小隊長賀須井2尉の指揮統率の下、検閲官の要望する「施設技術力を最大限發揮して被支援部隊の任務達成に寄与せよ。」、「基本基礎の徹底により不安事項を排除せよ。」を良く具現し、全員が一致団結して所命の任務を完遂した。

25日1200の状況開始移行、連日30度を超える猛暑の中、集結地の占領から連隊作戦室（大断面構築物）と連隊長執務室（小断面構築物）を接続させた陣地構築、破壊障害の構成を行い、各級指揮官の執念のこもった指揮統率により隊員の士気を鼓舞しつつ、所命の時期までに所命の強度と所望の機能を兼ね備えた構築物を完成させるなどして普通科連隊の防御任務に寄与した。

今回の小隊訓練検閲をもって、28年度末の小隊新編以来実施してきた戦力化の完成を図ることができた。



対空射撃



連隊作戦室（大断面構築物）



小隊長による命令下達

## 業務隊第二級賞状授与

出雲駐屯地業務隊（隊長 俵2佐）は、7月18日陸上幕僚監部で実施された第二級賞状授与式において山崎陸上幕僚長から「駐屯地の任務を踏まえた生活基盤の充実など部隊任務遂行に寄与」の功績により第二級賞状及び副賞を授与された。

この授与式では、駐屯地業務において優れた功績を挙げた陸上自衛隊の17個部隊が受賞した。

賞状授与後、山崎陸幕長から「諸君らがリーダーシップを發揮し、全国の業務隊の模範となり、成果の普及に努めて欲しい。『リーディング業務隊』としての栄冠を勝ち取ったことに誇りを持ち、これからも士気高らかに勤務して貰いたい。」と訓示を頂いた。

出雲駐屯地業務隊は、隊長以下一丸となり、「今後も様々な場面においても積極支援を心がけ実効性ある駐屯地の支援態勢を確立」に邁進する所存である。

また、平成31年2月17日（土）に出雲駐屯地業務隊創隊65周年記念行事を計画中である。



（俵業務隊長と二級賞状及び副賞）



（第二級賞状）

# 出雲駐屯地創立65周年記念行事

駐屯地は、9月23日(日)JR出雲市駅前くにびき中央道において、多くの市民が見守る中、出雲駐屯地創立65周年記念行事を挙行しました。来賓には衆議院議員 三浦靖様、島根県副知事 藤原孝行様、出雲市長 長岡秀人様、出雲大社宮司 千家尊祐様などのご臨席を頂いた。

行事は、駐屯地司令感謝状贈呈式をはじめ、第13音楽隊による音楽演奏、観閲式、観閲行進(市中パレード)、記念会食、装備品展示及び駐屯地活動状況説明会により、地域防衛基盤の拡充を図った。

この間、自衛隊島根地方協力本部と協力し募集対象者に自衛隊の真摯を披露した。

駐屯地は、9月23日(日)JR出雲市駅前くにびき中央道において、多くの市民が見守る中、出雲駐屯地創立65周年記念行事を挙行しました。来賓には衆議院議員 三浦靖様、島根県副知事 藤原孝行様、出雲市長 長岡秀人様、出雲大社宮司 千家尊祐様などのご臨席を頂いた。



◀ 式典



◀ 駐屯地司令より感謝状を贈りました。



▶ 第17普通科支援部隊



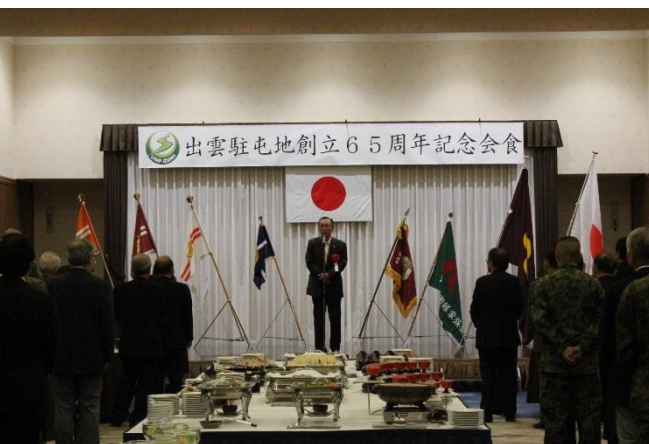
▶ 観閲部隊指揮官 2等陸佐 石川 仁



◀ 市役所での装備品展示



◀ 観閲行進 市中パレード



▶ 祝賀会食



▶ 第13音楽隊音楽演奏 (市役所くにびき大ホール)



人事往来

転出者

●幹部

▽施設隊 准陸尉 石倉 研司

(白衛隊島根地方協力本部Ⅱ松江)

●陸曹・陸士

▽偵察隊

2等陸曹 山田 隼人

(第13施設隊Ⅱ海田市)

2等陸曹 森 高志

2等陸曹 田畑 貴司

(陸上総隊司令部付隊Ⅱ朝霞)

▽施設隊

2等陸曹 三宅 公史

(白衛隊情報本部美保通信所

Ⅱ美保)

3等陸曹 井上 和也

(第2施設群Ⅱ湯布院)

3等陸曹 石森 猛

(第4施設群Ⅱ座間)

▽業務隊

陸曹長 安藤 仁志

▽第1直接支援隊 (第13特科隊Ⅱ日本原)

2等陸曹 野口 敬

(第302高射直接支援中隊Ⅱ青野原)

▽警務隊

1等陸曹 畠中 伸治

(第132地区警務隊Ⅱ米子)

新任地での「活躍を祈念します！」

転入者

●幹部

▽業務隊 1等陸尉 日野 豊

(白衛隊島根地方協力本部Ⅱ松江)

●陸曹・陸士

▽偵察隊 陸曹長 渡邊 博文

(第13後方支援隊Ⅱ海田市)

1等陸曹 矢通 斉

(第13施設隊Ⅱ海田市)

3等陸曹 森山 雄也

▽施設隊 (高等工科大学Ⅱ武山)

1等陸曹 宇野木 一寿

(第2施設群Ⅱ湯布院)

2等陸曹 橋本 健太

▽業務隊 (部隊訓練評価隊Ⅱ滝ヶ原)

1等陸曹 安井 努

(第8普通科連隊Ⅱ米子)

2等陸曹 宗岡 裕明

▽第1直接支援隊 (第17普通科連隊Ⅱ山口)

2等陸曹 田邊 収一

(第13後方支援隊Ⅱ日本原)

3等陸曹 小川 篤史

▽基通隊 (武器教導隊Ⅱ土浦)

3等陸曹 高原 正樹

▽警務隊 (第312基地通信中隊Ⅱ米子)

陸曹長 中西 宏智

▽会計隊 (第132地区警務隊Ⅱ米子)

陸士長 大野 隼人

(第356会計隊Ⅱ米子)

益々の「活躍を祈念します！」

祝 定年退官

7月



駐屯地業務隊 陸曹長 上田 勝 (7月13日付)



第13偵察隊 陸曹長 竹田 栄 (7月19日付)

9月



駐屯地業務隊 准陸尉 佐々木 孝晴 (9月28日付)

10月



駐屯地業務隊 准陸尉 田部 泰 (10月7日付)



駐屯地業務隊 3等陸尉 三浦 武浩 (10月16日付)



13後支2整中 陸曹長 岩下 智 (10月21日付)

永年の勤務お疲れ様でした。

12月定年退官予定者

業務隊 准陸尉 女鹿田 幸一